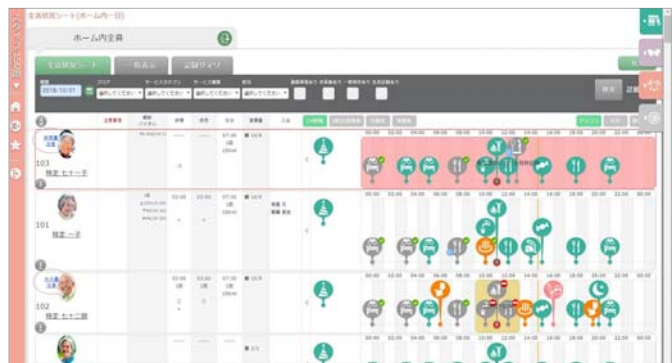


介護現場での“気づき”を促し、新たなマネジメントスタイルへの転換を図るプラットフォーム

サービスナビゲーションシステム が 平成30年度 『ITビジネス賞』 を受賞

株式会社ベネッセスタイルケア(代表取締役社長 滝山 真也)は、介護現場での“気づき”を促し、新たなマネジメントスタイルへの転換を図るプラットフォーム「サービスナビゲーションシステム」の開発と導入・展開で、公益社団法人企業情報化協会が主催する平成30年度(第36回)「IT賞」において、『ITビジネス賞』を受賞しましたので、お知らせします。

当社が運営する高齢者向けホームは2018年10月末現在、全国の大都市を中心に318拠点。「サービスナビゲーションシステム」は、ホームにおいて「その方らしさに、深く寄りそう。」という企業理念を実現するベネッセメソッド※の1つとして開発しました。約10,000名の介護・看護職員が一日の中で何度も読み書きする「記録」。その「記録」に“気づき”を促す仕組みと“円滑なマネジメント”につながる仕組みを組み込むことで、企業「理念」と介護現場の「行動」をつなぐことを意図しています。



このシステムで目指すことは、単なる「記録」の電子化、効率化のみならず、サービス品質の維持、向上であり、スタッフに“気づき”を促すことによって、サービスを“ナビゲート”することです。記録業務をIT化することで、介護・看護スタッフがよりご入居者様に寄りそった業務ができるようになるだけでなく、記録業務の過程でシステム側から必要なサービスや、事故・コンプライアンスなどに関する注意すべき情報についてのメッセージを能動的に発することによって、現場ではご入居者様の安全・安心の確保を超え、QOL(生活の質)をより高めることを意識して、使用しています。

「サービスナビゲーションシステム」は、介護業界の未来を変化させる可能性を評価していただき、この度の『ITビジネス賞』を受賞いたしました。

詳細はIT協会のWebサイトよりご参照下さい。

<http://www.jiit.or.jp/information/detail/info36itaward.html>



IT 賞は、日本の産業界ならびに行政機関などの業務における事業創造、効果的ビジネスモデルの構築・促進、生産性向上等、“IT を高度に活用したビジネス革新”に顕著な努力を払い成果を挙げたと認めうる企業、団体、機関および個人に対して、公益社団法人企業情報化協会から授与されるものです。

当社が受賞した『IT ビジネス賞』は、IT を効果的に導入・活用することにより、ビジネス活動における戦略的優位の実現や事業の拡大・創出による経営貢献について、顕著な成果をあげたと認定された場合に授与されます。

※【ベネッセメソッド】

実践知を言語化し、体系化したもの。特定の人や拠点が有している「ノウハウ」や「コツ」について、成果につなげることができている理由や背景を紐解き、共通項でまとめ、「言語化」「仕組み化」することで、その成功パターンを再現可能にしたもの。他に『**その方らしさに寄りそった環境づくりの手掛かり Benesse Method 01**』（書籍・カード「2017 年度グッドデザイン賞」受賞）、『**認知症ケアメソッド**』（メソッドを実践したホームが「2016 年度リビング・オブ・ザ・イヤー」受賞）などがあります。

ベネッセスタイルケアはこれからも、ご入居者様のその方らしい生き方を実現するために、
お一人おひとりの人生と向き合い、深く寄りそってまいります。

本内容に関するお問い合わせ
株式会社ベネッセスタイルケア 社長室広報 TEL.03-6836-1111